

地域づくり表彰

団体名（徳島県徳島市）

特定非営利活動法人 アクア・チッタ

特定非営利活動法人
アクア・チッタ

理事長

黒田 恭子



1. 徳島市の概要

徳島市は、徳島県の東部に位置し、吉野川とその支流がつくり育てた三角州に発達した人口約 25 万人の県都です。地方の中核的都市として、産業をはじめ、政治、経済、文化、教育、情報といったさまざまな面において高い集積があります。

気候は温暖で物産は豊かです。四国一の大河・吉野川をはじめ市内を縦横に流れる大小の川と優美な眉山の緑は、住む人に安らぎを与え、訪れる人をいやすます。また、阿波おどり、人形浄瑠璃、藍染・阿波しじら、木工製品、すだちなど、徳島の風土と歴史が育んだ個性的な文化を有しています。

まちは天正年間に蜂須賀家政が阿波に入国し、城郭を築いたのが始まりで、蜂須賀 14 代の治世のもと、阿波の政治・経済の中心として栄えました。明治 22 年に市制を施行。大正末期には周辺町村を編入し市域を拡大しました。

現在では、神戸鳴門ルートと四国縦貫・横断道の結節点として、近代産業の育成や、高速情報化時代に対応した都市づくりに取り組んでいます。



徳島市の航空写真

2. 活動開始の背景・経緯

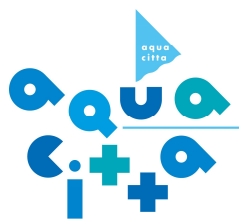
徳島市中心街市街地にほど近い万代中央ふ頭は、新町川下流の水辺という景観に恵まれた水際空間を有しており、1960 年代は徳島の物流拠点として栄えていました。



流通で賑わっていた頃のふ頭

しかし次第にその機能は別地域へ移り、90 年代末になると埠頭での貨物の取り扱いがゼロになりました。

その結果、東西約 500m にわたり古びた倉庫街だけが取り残された地域となっていました。2005 年、水辺の景観や大空間を備えた倉庫活用の可能性に魅力を感じた市民が集まり、特定非営利活動法人アクア・チッタが設立されました。



アクア・チッタのロゴマーク

団体設立からしばらくは当法人のボランティアメンバーが主体となって活動を行ってききましたが、その後、行政が募集する様々な協働事業のパートナーとして採択されたことにより、地域自治体と連携を深めるきっかけになるとともに、地域内外の人々に当法人の活動が認知されています。なお、国土交通省四国地方整

備局の研修プログラムは約 10 年にわたって担当し、地域の魅力発信と関係構築に努めています。



四国地整景観研修

また、ここ数年は地域に参入した事業者との連携も深まったことにより、公益性と事業性の両面に優れた「まちづくり」ができています。20 年近くに及ぶ活動を通じて、本エリアの取組は「成功事例」であるとの評価が全国的に高まったので、県内外からの視察や公演依頼が相次いでいます。最近では、遊休施設の利活用に取り組んでいる全国のキーマンが集まる「リノベーションまちづくりサミット」への登壇が注目されるなど、当該エリアを飛び出して当団体の活動は地域外へ大きく波及しています。



全国倉庫サミット

3. 活動の内容

《清掃活動》

隔月第二土曜日に定期的を実施しています。強制ではない自主性に委ねた緩やかな活動は、参加人数は 3 ～ 100 人と幅が出てくるありますが、毎回和気あいあいと地域の

美化に取り組んでいます。



清掃活動

《各種イベントの開催》

地域の認知度向上と来訪者増加を目的に、団体設立の2005年から新型コロナウイルスが流行する前の2019年まで毎年11月頃アクア・チッタフェスタを開催しています。飲食や物販の出店、作品展示、音楽ステージなど多彩なコンテンツで地域の魅力を発信しており、特に、生演奏と打ち上げ花火のコラボレーションによる「音楽花火」は、地元放送局の協力を得てその様子を生中継し、多くの人々に現地の臨場感を届ける県を代表するイベントとなっています。



生演奏による音楽花火

その規模は年々拡大しており、2019年には過去最大の17,000人を集客しており、多くの人々がイベント再開を待ち望んでいます。「アクア・チッタフェスタ」以外にも、1年を通して各種イベントを開催しています。



イベントの実施

《エリア活用に向けての独自マスタープラン策定》

当該エリアの活用について、先進事例の調査や民意収集などを通じて独自のマスタープランを策定しています。さらに、県と連携のもと、地域の物流企業（倉庫所有者）とも関係を深め、より具体的で現実味のあるビジョンへと、プランのブラッシュアップを継続して行っています。



独自のマスタープラン

4. 成果

団体設立時は空き倉庫が立ち並び、多くのゴミが放置された環境で人気もなく近寄りたがたい雰囲気でしたが、現在では全倉庫約3分の2以上が利用されるようになり、その結果、当該エリアは「水辺のオシャレなまち」「遊休倉庫街の利活用に成功したまち」として国内外から高い評価を得るようになりました。地域の環境が快適に保たれた結果、付近の住民が散歩する姿や、学生が景色を眺める姿も多く見られるようになりました。



裏通りが人気スポットに

また、メディアからの注目も高く、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・インターネット記事などで高く取り上げられ、その数は年間300件以上に及びます。さらにSNSの広がりによって、イベント等を実施する度に把握しきれないほどの投稿があり、自然と情報発信ができています。



SNSの活用

最近では空き倉庫が著しく少なく、また、空き倉庫があってもその面積から1事業者では使い切れないという意見もあり、新規参加が難しい状況が続いていました。

その打開策として昨年開業された「第一倉庫」はシェアショップ・シェアオフィスの機能を持ち、短期間・小面積での出店を実現させたことから好評を博しています。



遊休倉庫を商業施設に転換

5. 今後の展望

現在、路上駐車場となっている倉庫前の川沿いスペースから車をなくし、人々がくつろげるウッドデッキに作り替えていきたいと思っています。また、岸壁エリアをより魅力的な空間にするべく、植樹やベンチを設置し、来訪者が安心して過ごせる空間を目指して、活動を実施していきます。



万代ふ頭のビジョン図